



株式会社大阪証券取引所ヘラクレス市場

平成 19 年 11 月 7 日

各 位

東京都中央区銀座六丁目2番1号
株式会社ダヴィンチ・アドバイザーズ
代表取締役社長 金子修
(コード番号: 4314)
問合せ先: 取締役チーフ・フィナンシャルオフィサー
荒川 貴次
TEL 03 - 6215 - 9865

平成 19 年 12 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 2 月 14 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	154,584	78,210	40,812	11,200
今回修正予想 (B)	250,000	91,000	68,000	11,200
増減額 (B - A)	95,416	12,790	27,188	
増減率 (%)	61.7%	16.4%	66.6%	
前期 (平成 18 年 12 月期) 実績	136,021	44,043	30,501	9,124

2. 修正の理由

上記のとおり今回の修正は当期純利益の修正ではなく、不動産売却先の変更に伴い会計処理の方法の違いに基づく売上高、営業利益および経常利益の修正であり、増加した経常利益はファンド投資家に帰属しますので当期純利益に変更は全くありません。

会計処理の方法の違いを簡略化した事例で説明しますと下記のとおりであります。

	売却収入(グロス)	売却原価	売却損益(ネット)
売買事例	500	200	300

	売上高	売上原価	売上総利益
売却先が当社ファンドの場合	300	0	300
売却先が外部の場合	500	200	300

上記事例のとおり業績予想の基礎となる売却計画において、売却先を当社ファンドから外部に変更しますと、売上高はネットの 300 からグロスの 500 に増加することになりますが、売上総利益に変動はありません。

当社グループではファンド投資家に最大のリターンを提供するために、最も高く買っていただける場所に売却しますので売却先を固定しておりません。

従いまして、今後も売却先の変更により売上高は大きく変動することがありえますが、それにより当期純利益は変動いたしません。

上記の予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上